

和光市駅北口地区における高度利用化の検討について

平成29年 8月23日
和光市建設部

1 社会情勢の変化を踏まえたまちづくり

○交通利便性の更なる向上

- ・ **道路** 外環道の新たな開通によりアクセスが飛躍的に向上
 - …平成29年度内：東関東道まで開通 ⇒和光ICから成田空港に直結
 - 平成32年度以降：東名高速まで開通 ⇒全方位へアクセス可能
- ・ **鉄道** 地下鉄の始発駅で都心から至近距離にある

○都市間競争の激化

- ・ 我が国の人口減少、経済のグローバル化により都市が選ばれる時代へ

【和光市の交通ネットワーク】

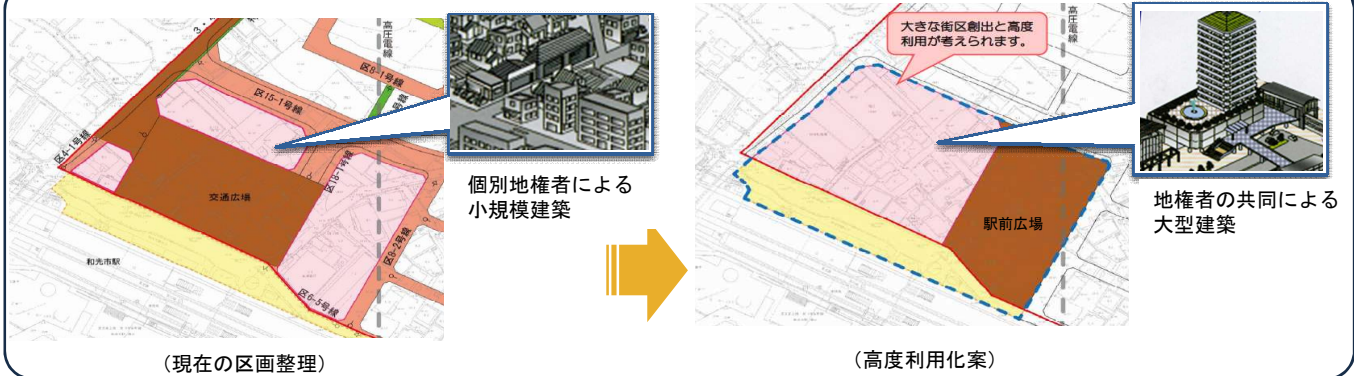


○駅北口地区を「和光市の顔」としての魅力具备了高度利用化の推進が必要

2 新たなまちづくりの方向性

- 区画整理の駅前広場を中心とするエリアの高度利用化
- 複合的な都市機能の集約化による街の魅力向上
- 駅前広場計画の変更による交通結節機能の強化

【まちづくりのイメージ】

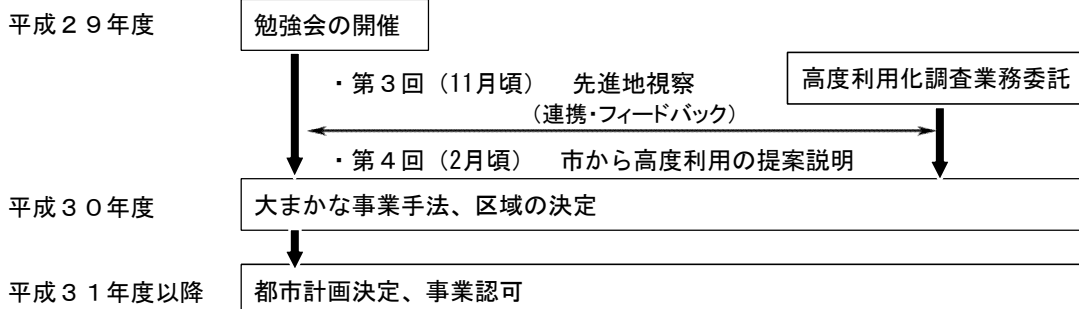


3 検討の進め方

(1) これまでの検討状況

- 平成29年2月24日 市から「駅北口土地区画整理事業 高度利用推進について」地権者へ提案
- 4月24日 アドバイザーとして学識経験者（日本大学 中村教授）が就任
- 6月5日 第1回勉強会の開催（仮換地が北口駅前の地権者を対象）
 - ・ 説明内容：①市街地再開発事業のしくみ
 - ②敷地の集約化・共同利用
 - ③検討スケジュール
- 8月21日 第2回勉強会の開催（仮換地が北口駅前の地権者を対象）
 - ・ 説明内容：①二子玉川東地区再開発事業の概要及び視察
 - ②市街地再開発事業の施行者別特徴及び事例紹介

(2) 今後の検討スケジュール



<参考>

- 平成29年9月定例会 補正予算案を上程予定
- ・ 和光市駅北口地区高度利用化調査業務委託費（平成29・30年度継続事業）